



一般社団法人 日本土壤肥料学会 2016 年度（第 39 回）通常総会

[2016 年 4 月 4 日（月）13 時 00 分～14 時 10 分 東京大学山上会館]

次 第

開会

会長挨拶

議長選出

議 事

第 1 号議案 2015 年度事業報告、事業報告の附属明細書、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告

第 2 号議案 2016 年度事業計画案および収支予算案

第 3 号議案 総会議事録署名人の選任

その他 2016 年度年次大会（佐賀）の開催について

閉 会

一般社団法人 日本土壤肥料学会 2016 年度通常総会

議 事

第 1 号議案 2015 年度事業報告、事業報告の附属明細書、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告

I. 2015（平成 27）年度事業報告（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）

1. 定期刊行物および資料の刊行

(1) 定期刊行物

- 1) 日本土壤肥料学雑誌（会誌）は、第 86 巻第 2 号～6 号、第 87 巻第 1 号の計 6 冊を刊行した。掲載した論文数等は次のとおりである。報文 15 編、ノート 13 編、技術レポート 7 編、講座 16 編、総説 2 編、資料・国内外情報 27 編、学会賞受賞論文要旨 3 編、奨励賞受賞論文要旨 5 編、技術奨励賞受賞論文要旨 2 編、進歩総説 30 編、国際土壤年企画エッセイ、ニュース（地域の動きを含む）、書評、欧文誌 Vol.60 掲載論文要旨、合計 652 頁、ほかに第 86 巻総目次、キーワード索引、著者名索引、会員消息、会誌投稿規程、原稿執筆規程、編集委員会だより、学会だより（土壤教育活動だよりを含む）等。
- 2) SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION（欧文誌）は、Vol.61, No.2～No.6、S1（特別号）および Vol.62, No.1 の計 7 冊を刊行した。掲載した論文数等は、報文 95 編、短報 3 編、総説 7 編、会誌報文抄録等、合計 1,085 頁となった。欧文誌の配布数は、名誉会員 10、正会員 354（うち海外 19）、学生会員 69（うち留学生 63）、国内寄贈・交換 5、海外寄贈・交換 20 等であった。
- 3) 日本土壤肥料学会講演要旨集（第 61 集、295 頁）を 2015 年度京都大会に際して刊行した。

(2) その他の刊行物

農文協より日本土壤肥料学会編集「世界の土・日本の土は今」を刊行した。

2. 講演会および研究会等の開催

(1) 「土と肥料」の講演会

4 月 4 日の通常総会終了後に東京大学山上会館において「土と肥料」の講演会を開催した。なお、本講演会は日本学術会議の後援を受けている。テーマを「国際土壤年によせて」とし、講演者と演題は小崎 隆氏「国際土壤年によせて—私たちは土壤劣化から何を学んだか—」および伊藤 治氏「アフリカサバンナにおける農業開発—土壤肥料的観点からみた現状と問題点—」であった。

(2) 2015 年度年次大会等

- 1) 京都大学吉田南キャンパスおよび同志社大学寒梅館において年次大会を開催した

(9/9～11)。口頭発表は 332 課題、ポスター発表は 222 課題、合計 554 課題であった。年次大会への参加者数は 894 名であった。

2) シンポジウムは、公募による 5 つのテーマのシンポジウム及び大会運営委員会企画による市民公開シンポジウムを実施した。

2、3 部門：土壌の物質循環機能を多角的にみる－最先端手法が切り拓く新たな姿

4 部門：植物栄養の多面的解析と応用に向けて

9 部門：土壌保全活動の推進に環境思想、環境社会学は何かができるか？

9 部門：土壌と東西の神々

全部門：津波被災農地の営農再開における土壌肥料分野の貢献と課題

公開シンポジウム：土壌はアフリカを養えるのか

3) ミニシンポジウムは、以下に示す 2 つのテーマについて実施した。

3 部門：土壌微生物研究を農業にどう役立てるか－基礎研究から実用化への展開

9 部門：全国 6 支部の小・中・高校生及び大学生に対する土壌アンケート調査結果の集計・分析から土壌教育を考える

4) 同志社大学寒梅館において、以下の講演が行われた (9/10)。

第 60 回日本土壌肥料学会賞受賞者

・加藤好武：日本における農耕地土壌情報のシステム化とその利用に関する研究

・藤山英保：塩ストレス、特にソーダ質土壌障害に対する植物の応答に関する栄養生理学的研究

・横山 正：バイオ肥料微生物の特性解明とその利用

日本農学賞・讀賣農学賞受賞記念講演

・山谷知行：イネの生産性を制御する窒素代謝の分子基盤

特別講演

・Prof. Dr. Rattan Lal (IUSS 次期会長) : Soil and Sustainability (土壌と持続性)

5) 第33回日本土壌肥料学会奨励賞 (池永 誠、小宮山鉄兵、中尾 淳、野副朋子、藤井一至) 及び第4回日本土壌肥料学会技術奨励賞受賞者 (種村竜太、長坂克彦) の記念講演については、京都大会一般講演会場で行われた。

6) 日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞者 (日高秀俊・新妻成一・小宮山鉄兵・藤澤英司、藤田 裕・清水 明・江口定夫・板橋 直・折本善之・飯村 強) 及び SSPN Award 受賞者 (Yusuke TAKATA・Kazunori KOHYAMA・Hiroshi OBARA・Yuji MAEJIMA・Naoki ISHITSUKA・Takashi SAITO・Ichiro TANIYAMA) については、京都大会ポスター会場に受賞記念ポスターを展示した。

(3) 2015 年度支部大会

・北海道支部：秋季支部大会 12/2 於道民活動振興センター「かでの 2・7」(札幌市)

・東北支部：支部大会 7/6～7 於カレッジプラザ (秋田市)

・関東支部：支部大会 11/28 於東洋大学板倉キャンパス (群馬県邑楽郡板倉町)

・中部支部：支部例会 2016.3/3 於三重大学 (津市)

- ・関西支部：支部大会 12/11 於メルパルク松山（松山市）
- ・九州支部：春季例会 4/23～24 於九州大学箱崎キャンパス創立五十周年記念講堂（福岡市）、秋季例会 9/28～29 於鹿児島大学農学部（鹿児島市）

(4) その他

- ・「第 28 回環境工学連合講演会（5/15 日本学術会議講堂）」を共催した。
- ・日本地球惑星科学連合 2015 セッション「土壌学の挑戦と可能性－地球科学・生態学・生物地球化学との接点」（5/24～28）を共催した。
- ・「第 52 回アイソトープ・放射線研究発表会（7/8～10）」を共催した。
- ・「第 13 回微量元素の生物地球化学に関する国際会議（ICOBTE 2015 7/12～16 福岡市）」を共催した。
- ・「国際第四紀学連合第 19 回大会（INQUA Congress 2015）」のセッション「人間活動による人工および天然放射線核種の生物圏への広がりと影響に関する研究」（7/27～8/2）を共催した。
- ・同 INQUA Congress 2015 のセッション「都市土壌の生成」（7/28～8/2）を協賛した。
- ・日本農芸化学会関東支部主催の「高校生のための実験教室 バイオサイエンス・スクール 2015」を共催した（8/5）。
- ・埼玉県立川の博物館主催の「国際土壌年記念 巡回展示」を共催した。
- ・「第 59 回粘土科学討論会（9/2～5）」を共催した。
- ・「第 10 回高崎量子応用研究シンポジウム（10/8～9）」を協賛した。
- ・公益財団法人 農業・環境・健康研究所主催の第 5 回シンポジウム「土壌と人間：国際土壌年 2015 を祝して（10/23）」を協賛した。
- ・MARCO サテライトワークショップ 2015「アジアの作物生産システムと水資源問題のための SWAT の適用と適応（10/20～23）」を後援した。
- ・「第 31 回腐植物質学会講演会（11/19～20）」を協賛した。
- ・東北農研シンポジウム「鉄鋼スラグは有望な農業資材となり得るか？－農業分野での技術開発の可能性を探る－（11/27）」を後援した。
- ・「第 31 回近赤外フォーラム（11/25～27）」を後援した。
- ・「2015 環太平洋国際化学会議（12/15～20 ホノルル）」を後援した。

3. 研究の奨励および研究業績の表彰

学会賞等選考委員会（10/17）、論文賞等選考委員会（10/17）および第 4 回理事会（10/18）において、日本農学賞の候補者、日本土壌肥料学会賞、同技術賞、同奨励賞、同技術奨励賞、論文賞および SSPN Award の受賞者が以下のとおり選定された。

- ・第 61 回 日本土壌肥料学会賞

神山和則：土壌情報システムを利用した農業生態系の評価に関する研究

中西啓仁：イネの鉄栄養研究から出発したカドミウム吸収関連遺伝子群の発見と低

カドミウム米開発への貢献

渡邊 彰：土壤有機物の化学構造と動態に関する研究

・第 21 回 日本土壤肥料学会技術賞

熊谷勝巳：積雪寒冷地水田における良食味米安定生産と環境影響軽減のための土壤管理・施肥技術の開発

藤本順子：園芸作物における栄養障害の早期診断法と障害回避技術の開発

・第 34 回 日本土壤肥料学会奨励賞

岡崎圭毅：植物代謝産物プロファイリングによる作物栄養及びストレス応答に関する研究

小八重善裕：アーバスキュラー菌根の細胞内動態に関する研究

多胡香奈子：農耕地における農薬・窒素動態に関わる土壤微生物の新機能解明

早川 敦：流域の窒素、リンおよび硫黄の生物地球化学循環に関する研究

南川和則：農耕地における温室効果ガス排出削減技術の国際的な活用に向けた基盤研究

・第 5 回 日本土壤肥料学会技術奨励賞

笛木伸彦：寒地畑作物に対する環境保全的かつ実践的な窒素施肥技術の開発

本間利光：水稻における水田土壌中のカドミウム・ヒ素の吸収抑制に関する研究

・日本土壤肥料学雑誌論文賞受賞者

八木哲生・松本武彦・大友 量・小林創平・三枝俊哉・岡 紀邦：根釧地域における飼料用トウモロコシのアーバスキュラー菌根菌感染率とリン酸施肥反応に及ぼす前作物の影響

・SSPN AWARD 受賞者

Kohei Yamashita・Hiroki Honjo・Mizuhiko Nishida・Makoto Kimura・Susumu Asakawa：Estimation of microbial biomass potassium in paddy field soil

Sumio Itoh・Tetsuya Eguchi・Naoto Kato・Shigeru Takahashi：Radioactive particles in soil, plant, and dust samples after the Fukushima nuclear accident

4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

(1) 日本農学会関係

- ・平成 27 年度日本農学会シンポジウム（統一テーマ：国際土壤年 2015 と農学研究—社会と命と環境をつなぐ 10/3 東京大学弥生講堂）の運営に協力した。当学会からは、小崎 隆氏が基調講演「100 億人時代における土壤の役割」を行った。

(2) 日本学術会議関係

- ・土壤科学分科会・IUSS分科会の合同会議が開催され（6/1）、国際土壤年に際して土壤機能に関する提言「緩・急環境変動下における土壤科学の基盤整備と研究強化の必要性」を行うこととなり、日本学術会議HP上に公開された（1/28）。

(3) IUSS、ESAFS 関係

- ・アジア土壌パートナーシップ (ASP) 専門家会合 (5/13~15) に代表者を派遣した。我が国は WG3、4、5 への参加を申請し承認されるとともに、八木一行氏が WG3 の座長に推薦され承認された。
- ・京都大会に Prof. Dr. Rattan Lal 氏 (IUSS 次期会長) を招聘した (9/10)。
- ・第 12 回 ESAFS (東・東南アジア土壌科学連合会議 9/18~21 中国・南京) に代表者を派遣した。IUSS の土壌生物関係および水田土壌肥沃度関係のセッションにおいて浅川氏 (名古屋大)、西田氏 (東北農研) および安藤氏 (山形大) が企画したシンポジウムが開催された。
- ・国際土壌年記念シンポジウム (9/19~21 ドイツ・キール) および国際土壌年総括会議 (12/7~8 オーストリア・ウィーン) に代表者を派遣した。

(4) 定期刊行物の寄贈・交換

内外の研究機関に対して定期刊行物を寄贈・交換した。

- ・日本土壌肥料学雑誌 国内 10、国外 14
- ・Soil Science and Plant Nutrition 国内 5、国外 20

(5) その他

- ・第 14 回日本農学進歩賞を野副朋子氏 (明治学院大学・東京大学) が受賞した (11/27)。

5. 本学会の委員会等活動

(1) 企画委員会

企画委員会では、「土と肥料」の講演会を企画し、東京大学山上会館で開催した(4/4)。次年度も、2016 年度第 39 回総会后 (2016.4/4) に「土と肥料」の講演会を開催し、日本学術会議の後援を受けるよう企画している。

(2) 土壌教育委員会

- ・小学生から大学生までを対象とした土に関するアンケート調査を行い、調査結果を京都大会のミニシンポジウムで発表した (9/11)。
- ・イオングループの協力により千葉市において土壌観察会「土のひみつを探ろう！～国際土壌年 2015 企画～」を実施した (7/12)。参加者は、イオンチアーズクラブに所属する子ども 45 名とコーディネータースタッフ 9 名であった。
- ・日本大学 (藤沢市) において、(公社) 日本農芸化学会関東支部主催の「高校生のための実験教室 バイオサイエンス・スクール 2015」を日本大学生物資源科学部生命化学科とともに共催した (8/5)。
- ・京都大会において「高校生ポスター発表」を開催した (9/9)。台風の影響で 1 校 (1 課題) が不参加となったが、7 校 (12 課題) がポスター発表に参加した。
- ・仙台市太白山自然観察の森 (宮城県仙台市) に土壌断面の説明等が書かれた野外観察板を寄贈した (2/26)。

(3) 広報委員会

- ・国際土壌年記念巡回展「土ってなんだろう」のプレスリリースを行った (5/28)。
- ・地球土壌儀 (英語・日本語表記) を作成し、各支部に配布した。

- ・ICOBTE (7/12~16) および INQUA (7/26~8/2) において学会紹介ブースを出展した。
- ・「エコプロダクツ 2015 (12/10~12)」に日本ペドロロジー学会とともにブースを出展した。

(4) 国際土壌年事業実行委員会

- ・国際土壌年 2015 に関わる事業を実行する委員会を設置し、事業活動を開始した。
- ・国際土壌年 2015 と土壌の重要性に関する啓発活動へのご支援のお願いに対し、24 の企業・団体から寄附およびその他の支援をいただいた。
- ・日本ペドロロジー学会と共催で、土壌フォトコンテストを開催した。応募総数は 419 (うち小学生部門 16、中高生部門 41) 点であり、審査委員会で最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点、入選 14 点を選定した。これらの入選作品を佳作 31 点も含めて学会ホームページで公開した。
- ・埼玉県立川の博物館および日本ペドロロジー学会と共催で、博物館等での国際土壌年巡回企画展を実施した。
- ・国際土壌年に合わせた書籍として、農文協より「世界の土・日本の土は今」、朝倉書店より「土のひみつ」を出版した。
- ・国際土壌年を記念し、(株) 向後米穀では特別栽培米を栽培・販売し、(株) 本田商店では純米吟醸酒「土のときめき」を製造・販売した。
- ・一般市民を対象とした国際土壌年 2015 記念公開シンポジウム「つち・とち・いのち～土のことを語ろう」を開催した (12/5)。

(5) 財政基盤整備委員会

- ・学会の経費低減を図るため、会計士事務所の委託契約料について検討した結果、現在委託している公認会計士事務所との顧問契約を 3 月 31 日で終了することとし、新たに公認会計士事務所を選定して契約を締結した。

6. 会務報告

(1) 会員の動向

- 1) 2016 年 2 月末における会員数は次のとおりである。

正会員 1,834 名 (うち会費免除会員 90 名、外国正会員 35 名)、賛助会員 43 社、名誉会員 11 名、学生会員 298 名 (うち留学生 63 名)、国内団体購読会員 106 団体 合計 2,292 名

- 2) 2015 年度中の入退会者数は次のとおりである。

入会：正会員 50 名 (うち海外正会員 0 名)、学生会員 145 名 (うち留学生 21 名) 合計 195 名

退会：正会員 122 名 (うち会費免除会員 5 名、海外正会員 1 名)、賛助会員 1 団体、学生会員 129 名 (うち留学生 22 名)、国内団体購読会員 8 団体 合計 260 名

(2) 会議

- 1) 総会：2015 年 4 月 4 日、東京大学山上会館において第 38 回通常総会が開催さ

れた。本総会においては、①2014 年度事業報告、収支決算報告、公益目的支出計画実施報告および監査報告、②2015 年度事業計画案および収支予算案、③役員の新任・退任、④名誉会員の推薦、⑤総会議事録署名人の選任について審議され、各議案とも、原案どおり議決または承認された。その議事録を会誌 86 巻第 3 号に掲載した。

- 2) 理事会：東京大学山上会館において 1 回、学会事務所において 7 回開催され、所要の事項・会務を報告・審議した。その議事録を会誌のニュース欄に掲載した。主要な議題としては、平成 28 年度日本農学会シンポジウムのテーマ案、京都大会での学会賞等授賞式並びに記念講演のタイムスケジュールおよびシンポジウムの構成案、交通費支給に関する内規の改定案、学会会議室の使用に関する内規案、T&F 社との契約更新、国際土壌年 2015 に関わる諸事業の計画・実施案、土壌肥料若手の会 2015 の支援、若手会員海外渡航費の支援等について審議し、実施してきた。
- 3) 部門長会議：①第 1 回部門長会議は、メール会議で実施した (3/9～4/7)。京都大会におけるシンポジウムの公募に対して 4 件の応募があったが、関連部門に偏りがあり、また数的にも少ないことから、部門長会議からも 1 件提案し、合計 5 件開催することとした。その他、大会運営委員会から公開シンポジウムが 1 件開催されることとなった。②第 2 回部門長会議 (6/6) においては、京都大会のプログラム編成、ポスター賞の各部門への割当数、部門長会議提案総説の発行頻度等について検討された。③第 3 回部門長会議 (11/8) においては、部門長の交代、佐賀大会の準備状況等が報告され、佐賀大会のプログラム編成方針を確認した。
- 4) 2015 年度学会賞等選考委員会：学会事務所において、会長を議長として開催し、第 61 回日本土壌肥料学会賞、第 21 回日本土壌肥料学会技術賞、第 34 回日本土壌肥料学会奨励賞および第 5 回日本土壌肥料学会技術奨励賞の受賞者を選考した (10/16)。その結果は第 5 回理事会 (10/17) での承認を経て、会誌 86 巻第 6 号に掲載した。また、同日午前、学会事務所において、論文賞選考委員会を開催し、日本土壌肥料学雑誌論文賞受賞論文と、SSPN Award 受賞論文を選考した。その結果も第 5 回理事会での承認を経て、会誌 86 巻第 6 号に掲載した。
- 5) 会誌編集関係：常任編集委員会を⁴回、地域担当編集委員との合同編集委員会を 1 回開催した。①投稿状況については、例年に比べて報文・ノートの投稿数が少ないことから、投稿促進の工夫および総説・解説等の拡充が必要である。②CiNii から J-STAGE への移行についての説明会 (5/11) を受けて、具体的な検討を行った。③国際土壌年関連企画「歴代会長・副会長によるエッセイ」を会誌第 86 巻 5 号と 6 号に掲載した。
- 6) 欧文誌編集関係：①SSPN 投稿・編集状況が報告された。1～12 月までの投稿数は 306 編と例年より少ないが、とくに問題はない。②SSPN 特集については、砂漠化 (61 巻 3 号) および都市域土壌 (61 巻 3 号特別号) および WCSS (61 巻 4 号) が発行され、ICOBTE (62 巻 2 号予定) の企画が進められている。③T&F 社との契約を更新した。
- 7) 支部における会議

北海道支部：第 1 回支部評議員会（6/4 北海道大学学術交流会館）が開催された。

第 2 回支部評議員会および支部総会（12/2 道民活動振興センター「かでの 2・7」）
が開催された。

東北支部：支部役員会および支部総会（7/6 秋田市カレッジプラザ）が開催された。

関東支部：支部幹事会および支部総会（11/28 東洋大学板倉キャンパス）が開催さ
れた。

中部支部：156 回支部評議員会（5/22 名古屋国際センター）が開催された。157

回支部評議員会および 76 回支部総会（2016.3/3 三重大学）が開催された。

関西支部：支部役員会（12/12 愛媛大学グリーンホール）が開催された。

九州支部：支部総会、支部常議員会、支部賞選考委員会および若手討論会（4/23
九州大学箱崎キャンパス）が開催された。

(3) その他

- ・京都大会に合わせて開催された日本土壌肥料学会若手の会（9/12～14）について
開催費用の一部を支援した。
- ・若手会員の海外学会等の参加渡航費補助金支給者の選考を行い、前期 4 名の支援
者を決定したが、1 名辞退があり、3 名の渡航費の一部を支援した。後期について
は申請がなかった。
- ・2017 年度年次大会は南條正巳氏（東北大）を大会運営委員長とし、2017 年 9 月 5
日（火）～7 日（木）、東北大学農学部青葉山新キャンパス及び災害科学国際研究
所において開催することを決定した（10/17）。

II. 2015（平成27）年度事業報告の附属明細書

事業報告の附属明細書として記載すべき事項はない。

Ⅲ. 2015（平成 27）年度収支決算報告書

一般正味財産増減の部

1. 経常収益

予算額より 534 万円増の 5,669 万円であった。

(1) 予算額に対して増加割合の大きな科目

- ⑤事業収益／会誌刊行等事業収益／会誌委託販売（予算額より 40 万円増）
同／欧文誌委託販売（同 60 万円増）
同／欧文誌投稿料・別刷り代等（同 232 万円増）
同／支部大会収入（同 69 万円増）
- ⑦受取助成金（同 130 万円増）
- ⑧受取寄付金（同 52 万円増）
- ⑨受託収入（同 83 万円増）
- ⑩雑収入（同 92 万円増）

(2) 予算額に対して減少割合の大きな科目

- ④受取会費／正会員受取会費（予算額より 127 万円減）
同／団体会員受取会費（同 36 万円減）
同／欧文誌購読会費受取会費（同 53 万円減）

2. 経常費用

予算額より 190 万円減の 6,024 万円であった。

(1) 予算額に対して増加割合の大きな支出科目

- ①事業費／年次大会開催費（予算額より 46 万円増）
同／会誌刊行費／印刷製本費（同 68 万円増）
同／国際土壌年事業費（同 149 万円増）
- ②管理費／租税公課（同 173 万円増）

(2) 予算額に対して減少割合の大きな科目

- ①事業費／会誌刊行費／編集費（予算額より 90 万円減）
同／各種委員会等運営費（同 31 万円減）
同／国際交流費（同 132 万円減）
同／女性・若手支援費（同 86 万円減）
同／国際シンポジウム費（同 58 万円減）

- ②管理費／臨時雇賃金（同 46 万円減）
- 同／会議費／部門長会（同 36 万円減）
- 同／旅費交通費（同 47 万円減）
- 同／通信運搬費（同 23 万円減）
- 同／リース料（同 45 万円減）

この結果、当期経常増減額は、－356 万円であった。

当期には国際土壌年関連活動が盛大に実施されたが、受取助成金、受取寄附金が予算額に比べて大きかったことから、予算作成時に想定した赤字額(1,080 万円)は大幅に縮小された。

3. 経常外増減の部

なし。

以上の結果、当期一般正味財産増減額は、－356 万円であった。

一般正味財産期首残高は 1 億 5,446 万円だったので、同期末残高は 1 億 5,090 万円となった。

指定正味財産増減の部

なし。

以上の結果から、正味財産期末残高は 1 億 5,090 万円となった。

予算対比正味財産増減計算書【管理費配賦前】

2015(平27)年3月1日から2016(平28)年2月29日まで

1/2

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 増 減 | 備考 |
|--------------|--------------|--------------|-------------|---|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| ① 基本財産運用益 | 1,500 | 1,994 | △ 494 | |
| 基本財産受取利息 | (1,500) | (1,994) | △ 494 | |
| ② 特定資産運用益 | 0 | 18,251 | △ 18,251 | |
| 特定資産受取利息 | (0) | (18,251) | △ 18,251 | |
| ③ 受取入金 | 600,000 | 585,000 | 15,000 | |
| 受取入金 | (600,000) | (585,000) | 15,000 | 3,000円×195人 |
| ④ 受取会費 | 28,670,000 | 26,720,000 | 1,950,000 | |
| 正会員受取会費 | (19,000,000) | (17,726,000) | 1,274,000 | 10,000円×1,772人 |
| 学生会員受取会費 | (1,800,000) | (2,112,000) | △ 312,000 | 6,000円×352人 |
| 団体会員受取会費 | (2,600,000) | (2,240,000) | 360,000 | 20,000円×112団体 |
| 欧文誌購読会費受取会費 | (2,520,000) | (1,992,000) | 528,000 | 6,000円×332人 |
| 賛助会員受取会費 | (2,750,000) | (2,650,000) | 100,000 | 50,000円×53口 |
| ⑤ 事業収益 | 21,985,000 | 25,699,928 | △ 3,714,928 | |
| 会誌刊行等事業収益 | (14,190,000) | (17,268,164) | △ 3,078,164 | |
| 会誌委託販売 | (1,200,000) | (1,603,535) | △ 403,535 | |
| 会誌投稿料・別刷り代等 | (2,700,000) | (2,515,440) | 184,560 | 86(2)～87(1) |
| 会誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | 10,000 | |
| 欧文誌委託販売 | (3,500,000) | (4,095,992) | △ 595,992 | Taylor & Francis |
| 欧文誌投稿料・別刷り代等 | (6,670,000) | (8,990,797) | △ 2,320,797 | 61(2)～62(1) |
| 欧文誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | 10,000 | |
| 講演要旨集(大会時外) | (0) | (62,400) | △ 62,400 | 3,500円×18部 |
| その他印刷物 | (0) | (0) | 0 | |
| 出版物印税 | (100,000) | (0) | 100,000 | |
| 大会収入 | (6,995,000) | (7,062,564) | △ 67,564 | 京都大会 |
| 参加料 | (3,455,000) | (3,676,000) | △ 221,000 | |
| 発表料 | (540,000) | (552,000) | △ 12,000 | 1,000円×522題 |
| 講演要旨集(大会時) | (3,000,000) | (2,808,000) | 192,000 | 4,000円×702部 |
| 雑収入 | (0) | (26,564) | △ 26,564 | 託児所利用料 2名他 |
| 広告料収入 | (800,000) | (680,400) | 119,600 | |
| 支部大会収入 | (0) | (688,800) | △ 688,800 | 支部大会 |
| ⑥ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取補助金 | (0) | (0) | 0 | |
| ⑦ 受取助成金 | 0 | 1,300,000 | △ 1,300,000 | |
| 受取助成金 | (0) | (1,300,000) | △ 1,300,000 | 独)日本学術振興会 科研費助成金 |
| ⑧ 受取寄付金 | 0 | 520,000 | △ 520,000 | |
| 受取寄付金 | (0) | (520,000) | △ 520,000 | 国際土壌年事業寄附金 |
| 受取寄附金振替額 | (0) | (0) | 0 | |
| ⑨ 受託収入 | 0 | 829,440 | △ 829,440 | |
| 受託金 | (0) | (829,440) | △ 829,440 | 首都大学東京より |
| ⑩ 雑収入 | 90,000 | 1,010,966 | △ 920,966 | |
| 受取利息 | (20,000) | (6,802) | 13,198 | |
| 雑収益 | (70,000) | (753,438) | △ 683,438 | 情報システム研究機構還元金、学術著作権協会他 |
| 支部雑収入 | (0) | (250,726) | △ 250,726 | |
| 経常収益計 | 51,346,500 | 56,685,579 | △ 5,339,079 | |
| (2) 経常費用 | | | | |
| ① 事業費 | 38,319,620 | 37,438,580 | 881,040 | |
| 年次大会開催費 | (6,994,520) | (7,457,945) | △ 463,425 | 京都大会運営委予算案に基づく |
| 会場費 | (1,820,000) | (2,371,743) | △ 551,743 | |
| 人件費 | (840,000) | (718,250) | 121,750 | 学生アルバイト |
| 運営費 | (480,000) | (498,096) | △ 18,096 | 機材、運営諸費用 |
| 年次大会管理費 | (2,450,520) | (2,492,856) | △ 42,336 | 運営業務委託費等 |
| 大会関係印刷費 | (1,404,000) | (1,377,000) | 27,000 | 講演要旨集750冊印刷代 |
| 会誌刊行費 | (12,920,000) | (12,864,281) | 55,719 | 86(2)～87(1) |
| 印刷製本費 | (10,000,000) | (10,683,198) | △ 683,198 | |
| 通信運搬費 | (2,000,000) | (2,161,083) | △ 161,083 | |
| 編集費 | (920,000) | (20,000) | 900,000 | |
| 欧文誌刊行費 | (5,500,000) | (5,623,124) | △ 123,124 | 61(2)～62(1) |
| 印刷製本費 | (4,300,000) | (4,215,480) | 84,520 | |
| 通信運搬費 | (0) | (0) | 0 | |
| 編集費 | (1,200,000) | (1,407,644) | △ 207,644 | |
| 各種委員会等運営費 | (1,724,500) | (1,409,958) | 314,542 | 土壌教育委、広報委(エコプロダクツ出展)、ハイパ インスケール共催費用他 |

次頁に続く

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 増 減 | 備考 |
|---------------|--------------|-------------|--------------|-----------------------|
| 支部交付金 | (0) | (0) | 0 | |
| 学術交流費 | (30,000) | (0) | 30,000 | |
| 国際交流費 | (2,495,000) | (1,179,638) | 1,315,362 | ESAFSへの会長派遣、京都大会特別講演等 |
| 事業関係通信運搬費 | (200,000) | (149,980) | 50,020 | |
| 事業関係雑費 | (0) | (58,800) | △ 58,800 | |
| 事業関係業務委託費 | (0) | (0) | 0 | |
| 農学会等分担金 | (270,000) | (362,200) | △ 92,200 | 日本農学会分担金、日本学術協力財団等 |
| HP管理費 | (189,600) | (156,600) | 33,000 | |
| 顕彰費 | (610,000) | (610,000) | 0 | 学会賞他 |
| 女性・若手支援費 | (1,660,000) | (804,329) | 855,671 | 奨励賞、渡航支援、若手の会他 |
| 国際シンポジウム費 | (2,741,000) | (2,160,888) | 580,112 | ICOBTE2015支援金 |
| 国際土壌年事業費 | (1,485,000) | (2,973,765) | △ 1,488,765 | |
| 支部大会開催費 | (1,500,000) | (1,627,072) | △ 127,072 | |
| ② 管理費 | 23,828,500 | 22,805,629 | 1,022,871 | |
| 役員報酬 | (2,400,000) | (2,400,000) | 0 | |
| 給料手当 | (3,600,000) | (3,438,400) | 161,600 | |
| 臨時雇賃金 | (900,000) | (438,500) | 461,500 | |
| 退職給付費用 | (139,500) | (150,000) | △ 10,500 | 退職給与引当金繰入 |
| 法定福利費 | (100,000) | (27,395) | 72,605 | 労働保険 |
| 福利厚生費 | (600,000) | (577,731) | 22,269 | 社会保険 |
| 会議費 | (724,000) | (197,290) | 526,710 | |
| 総会 | (300,000) | (48,400) | 251,600 | |
| 理事会 | (20,000) | (8,314) | 11,686 | |
| 部門長会 | (364,000) | (1,896) | 362,104 | |
| 選考委員会 | (10,000) | (1,677) | 8,323 | |
| 選挙管理委員会 | (0) | (3,214) | △ 3,214 | |
| その他会議費 | (30,000) | (133,789) | △ 103,789 | 支部会議費等 |
| 旅費交通費 | (4,500,000) | (4,026,700) | 473,300 | |
| 通信運搬費 | (1,000,000) | (770,925) | 229,075 | |
| 什器備品費 | (100,000) | (0) | 100,000 | |
| 消耗品費 | (400,000) | (100,878) | 299,122 | |
| 印刷製本費 | (350,000) | (288,587) | 61,413 | 総会資料等 |
| 事務所賃料等 | (3,120,000) | (3,062,436) | 57,564 | 事務所家賃・共益費 |
| 事務所賃借保証料 | (0) | (0) | 0 | |
| 光熱水料費 | (300,000) | (250,206) | 49,794 | |
| リース料 | (800,000) | (347,502) | 452,498 | PC、FAX等 |
| 保険料 | (15,000) | (25,520) | △ 10,520 | 賃貸借年間補償委託料 |
| 租税公課 | (700,000) | (2,427,837) | △ 1,727,837 | 消費税、法人税、他 |
| 業務委託費 | (4,000,000) | (4,077,626) | △ 77,626 | 会員管理、会計業務 |
| 雑費 | (80,000) | (198,096) | △ 118,096 | 弥生会計ソフトサポート他 |
| 経常費用計 | 62,148,120 | 60,244,209 | 1,903,911 | |
| 当期経常増減額 | △ 10,801,620 | △ 3,558,630 | △ 7,242,990 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| ① 雑収益 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| ① 雑損失 | 0 | 0 | 0 | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 10,801,620 | △ 3,558,630 | △ 7,242,990 | |
| 一般正味財産期首残高 | 135,303,403 | 154,458,775 | △ 19,155,372 | |
| 一般正味財産期末残高 | 124,501,783 | 150,900,145 | △ 26,398,362 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| ① 受取補助金等 | | | | |
| 助成金収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般正味財産への振替額 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | |
| III 正味財産期末残高 | 124,501,783 | 150,900,145 | △ 26,398,362 | |

財 産 目 録
2016(平28)年2月29日現在

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|----------------|---------------------|--------------------------|--------------------|
| (流動資産) | | | |
| 現金預金 | | | |
| 現金手許有高普通預金 | | 運転資金として | 714,378 |
| | みずほ銀行本郷支店(普)-1 | 運転資金として | 6,788,658 |
| | みずほ銀行(養賢堂)本郷支店(普)-2 | 運転資金として | 16,111,244 |
| | みずほ銀行本郷支店(普)-3 | 運転資金として | 3,687,019 |
| | 三菱東京UFJ銀行本郷支店(普)-4 | 運転資金として | 229,911 |
| 郵便振替貯金 | | 運転資金として | 12,877,764 |
| 支部現金預金 | | | 3,536,691 |
| (1) 北海道支部 | | 運転資金として | (459,236) |
| (2) 東北支部 | | 運転資金として | (819,299) |
| (3) 関東支部 | | 運転資金として | (218,938) |
| (4) 中部支部 | | 運転資金として | (421,894) |
| (5) 関西支部 | | 運転資金として | (714,597) |
| (6) 九州支部 | | 運転資金として | (902,727) |
| 現金預金合計 | | | 43,945,665 |
| 仮払金 | | | 500,000 |
| (1) 年次大会 | | | 500,000 |
| 仮払金合計 | | | 500,000 |
| 未収金 | | | 2,020,000 |
| (1) 会費(団体会員) | | 2015年度 2,020,000円 | 2,020,000 |
| (2) 会費(賛助会員) | | 2015年度 540円 | 540 |
| (3) 会誌投稿料・別刷代 | | 2015年度 384,830円 | 384,830 |
| (4) 欧文誌委託販売 | | 2015年度 4,095,992円 | 4,095,992 |
| (5) 欧文誌投稿料・別刷代 | | 2015年度 6,149,797円 | 6,149,797 |
| (6) 広告料 | | 2015年度 97,200円 | 97,200 |
| (7) 講演要旨集 | | | 0 |
| 未収金合計 | | | 12,748,359 |
| 流動資産合計 | | | 57,194,024 |
| (固定資産) | | | |
| 基本財産 | | | |
| | みずほ銀行本郷支店(定)-1 | | 10,000,000 |
| 基本財産合計 | | | 10,000,000 |
| 特定資産 | | | |
| 国際シンポジウム準備積立金 | | | 6,170,000 |
| 女性・若手会員支援事業積立金 | みずほ銀行本郷支店(定)-2 | | (6,170,000) |
| | | | 17,700,000 |
| 表彰事業基金積立金 | みずほ銀行本郷支店(定)-3 | | (17,700,000) |
| | | | 2,000,000 |
| 退職給付引当積立預金 | みずほ銀行本郷支店(定)-4 | | (2,000,000) |
| | | | 900,000 |
| 事務所維持等積立金 | みずほ銀行本郷支店(定)-5 | | (900,000) |
| | | | 74,160,000 |
| | 三菱東京UFJ銀行(定)-6 | | (74,160,000) |
| 特定資産合計 | | | 100,930,000 |
| その他固定資産 | | | |
| 保証金 | | | (756,160) |
| その他固定資産合計 | | | 756,160 |
| 固定資産合計 | | | 111,686,160 |
| 資産合計 | | | 168,880,184 |
| (流動負債) | | | |
| 未払金 | | エディター 編集費2月分 | 62,368 |
| 前受会費 | | 2016年度以降分会費 | 14,036,000 |
| 前受金 | | Taylor & Francis社 ロイヤリティ | 2,920,000 |
| 預り金 | | 2016年3月分~12月分相当分 | 61,671 |
| | | 源泉税・社会保険1月~2月分 | |
| 流動負債合計 | | | 17,080,039 |
| (固定負債) | | | |
| (1) 退職給付引当金 | | | 900,000 |
| 負債合計 | | | 17,980,039 |
| 正味財産 | | | 150,900,145 |

貸借対照表
2016(平28)年2月29日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-------------------|---------------|--------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 43,945,665 | 60,570,633 | △ 16,624,968 |
| 預け金 | 0 | 0 | 0 |
| 仮払金 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 未収金 | 12,748,359 | 7,106,679 | 5,641,680 |
| 前払金 | 0 | 0 | 0 |
| 流動資産合計 | 57,194,024 | 68,177,312 | △ 10,983,288 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産合計 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 国際会議準備金積立金 | 6,170,000 | 6,170,000 | 0 |
| 女性・若手会員支援積立金 | 17,700,000 | 17,700,000 | 0 |
| 表彰事業積立金 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 |
| 退職給付引当預金 | 900,000 | 610,000 | 290,000 |
| 事務所維持等積立金 | 74,160,000 | 0 | 74,160,000 |
| 特定資産合計 | 100,930,000 | 26,480,000 | 74,450,000 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 土地 | 0 | 0 | 0 |
| 建物 | 0 | 0 | 0 |
| 建物改築・移転等積立金 | 0 | 65,000,000 | △ 65,000,000 |
| 保証金 | 756,160 | 756,160 | 0 |
| その他固定資産合計 | 756,160 | 65,756,160 | △ 65,000,000 |
| 固定資産合計 | 111,686,160 | 102,236,160 | 9,450,000 |
| 資産合計 | 168,880,184 | 170,413,472 | △ 1,533,288 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 62,368 | 0 | 62,368 |
| 前受会費 | 14,036,000 | 14,199,000 | △ 163,000 |
| 前受金 | 2,920,000 | 896,972 | 2,023,028 |
| 預り金 | 61,671 | 108,725 | △ 47,054 |
| 流動負債合計 | 17,080,039 | 15,204,697 | 1,875,342 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 900,000 | 750,000 | 150,000 |
| 固定負債合計 | 900,000 | 750,000 | 150,000 |
| 負債合計 | 17,980,039 | 15,954,697 | 2,025,342 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 女性・若手会員支援積立金 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産合計 | 0 | 0 | 0 |
| (うち基本財産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (0) | 0 | (0) |
| 2. 一般正味財産 | 150,900,145 | 154,458,775 | △ 3,558,630 |
| (うち基本財産への充当額) | (10,000,000) | (10,000,000) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (100,930,000) | (26,480,000) | (74,450,000) |
| 正味財産合計 | 150,900,145 | 154,458,775 | △ 3,558,630 |
| 負債及び正味財産合計 | 168,880,184 | 170,413,472 | △ 1,533,288 |

正味財産増減計算書
2015(平27)年3月1日から2016(平28)年2月29日まで

1/2

(単位: 円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産運用益 | 1,994 | 2,437 | △ 443 |
| 基本財産受取利息 | (1,994) | (2,437) | △ 443 |
| ② 特定資産運用益 | 18,251 | 20,290 | △ 2,039 |
| 特定資産受取利息 | (18,251) | (20,290) | △ 2,039 |
| ③ 受取入会金 | 585,000 | 585,000 | 0 |
| 受取入会金 | (585,000) | (585,000) | 0 |
| ④ 受取会費 | 26,720,000 | 27,088,000 | △ 368,000 |
| 正会員受取会費 | (17,726,000) | (17,825,000) | △ 99,000 |
| 学生会員受取会費 | (2,112,000) | (2,087,000) | 25,000 |
| 団体会員受取会費 | (2,240,000) | (2,340,000) | △ 100,000 |
| 欧文誌購読会員受取会費 | (1,992,000) | (2,136,000) | △ 144,000 |
| 賛助会員受取会費 | (2,650,000) | (2,700,000) | △ 50,000 |
| ⑤ 事業収益 | 25,699,928 | 23,295,455 | 2,404,473 |
| 印刷物収入 | (17,268,164) | (15,050,055) | 2,218,109 |
| 大会収入 | (7,062,564) | (6,884,300) | 178,264 |
| 広告料収入 | (680,400) | (648,000) | 32,400 |
| 支部大会収入 | (688,800) | (713,100) | △ 24,300 |
| ⑥ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 |
| 受取補助金 | (0) | (0) | 0 |
| ⑦ 受取助成金 | 1,300,000 | 0 | 1,300,000 |
| 受取助成金 | (1,300,000) | (0) | 1,300,000 |
| ⑧ 受取寄付金 | 520,000 | 1,000,000 | △ 480,000 |
| 受取寄付金 | (520,000) | (500,000) | 20,000 |
| 受取寄附金振替額 | (0) | (500,000) | △ 500,000 |
| ⑨ 受託収益 | 829,440 | 1,596,000 | △ 766,560 |
| 受託収益 | (829,440) | (1,596,000) | △ 766,560 |
| ⑩ 雑収入 | 1,010,966 | 16,664,549 | △ 15,653,583 |
| 受取利息 | (6,802) | (1,807) | 4,995 |
| 雑収益 | (753,438) | (16,410,895) | △ 15,657,457 |
| 支部雑収入 | (250,726) | (251,847) | △ 1,121 |
| 経常収益計 | 56,685,579 | 70,251,731 | △ 13,566,152 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | 49,839,689 | 44,534,356 | 5,305,333 |
| 年次大会開催費 | (7,457,945) | (7,293,750) | 164,195 |
| 会誌刊行費 | (12,864,281) | (12,403,250) | 461,031 |
| 欧文誌刊行費 | (5,623,124) | (3,886,368) | 1,736,756 |
| 各種委員会等運営費 | (1,409,958) | (1,381,514) | 28,444 |
| 支部交付金 | (0) | (0) | 0 |
| 学術交流費 | (0) | (0) | 0 |
| 国際交流費 | (1,179,638) | (234,112) | 945,526 |
| 事業関係通信運搬費 | (149,980) | (195,048) | △ 45,068 |
| 事業関係雑費 | (58,800) | (313,075) | △ 254,275 |
| 事業関係業務委託費 | (0) | (148,071) | △ 148,071 |
| 農学会等分担金 | (362,200) | (301,300) | 60,900 |
| HP管理費 | (156,600) | (156,600) | 0 |
| 顕彰費 | (610,000) | (620,000) | △ 10,000 |
| 女性・若手支援費 | (804,329) | (1,053,822) | △ 249,493 |
| 国際シンポジウム費 | (2,160,888) | (1,126,233) | 1,034,655 |
| 国際土壌年事業費 | (2,973,765) | (0) | 2,973,765 |
| 支部大会開催費 | (1,627,072) | (1,171,873) | 455,199 |
| 役員報酬 | (1,680,000) | (1,680,000) | 0 |
| 給料手当 | (2,063,040) | (2,026,560) | 36,480 |
| 臨時雇賃金 | (219,250) | (268,250) | △ 49,000 |
| 退職給付費用 | (90,000) | (84,000) | 6,000 |
| 法定福利費 | (16,437) | (37,393) | △ 20,956 |
| 福利厚生費 | (346,639) | (291,709) | 54,930 |
| 会議費 | (39,458) | (111,930) | △ 72,472 |
| 旅費交通費 | (2,416,020) | (2,601,948) | △ 185,928 |
| 通信運搬費 | (616,740) | (823,410) | △ 206,670 |
| 什器備品費 | (0) | (596,160) | △ 596,160 |
| 消耗品費 | (30,263) | (57,153) | △ 26,890 |
| 印刷製本費 | (230,870) | (370,508) | △ 139,638 |
| 事務所賃料等 | (1,837,462) | (1,612,226) | 225,236 |
| 事務所賃借保証料 | (0) | (122,497) | △ 122,497 |
| 光熱水料費 | (125,103) | (115,298) | 9,805 |
| 修繕費 | (0) | (82,645) | △ 82,645 |
| 負担費 | (0) | (38,371) | △ 38,371 |
| リース料 | (243,251) | (300,951) | △ 57,700 |
| 業務委託費 | (2,446,576) | (3,028,329) | △ 581,753 |
| 減価償却費 | (0) | (0) | 0 |

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|-------------|-------------|--------------|
| ② 管理費 | 10,404,520 | 11,070,627 | △ 666,107 |
| 役員報酬 | (720,000) | (720,000) | 0 |
| 給料手当 | (1,375,360) | (1,351,040) | 24,320 |
| 臨時雇賃金 | (219,250) | (268,250) | △ 49,000 |
| 退職給付費用 | (60,000) | (56,000) | 4,000 |
| 法定福利費 | (10,958) | (24,929) | △ 13,971 |
| 福利厚生費 | (231,092) | (194,473) | 36,619 |
| 会議費 | (157,832) | (447,722) | △ 289,890 |
| 旅費交通費 | (1,610,680) | (1,734,632) | △ 123,952 |
| 通信運搬費 | (154,185) | (205,853) | △ 51,668 |
| 什器備品費 | (0) | (1,391,040) | △ 1,391,040 |
| 消耗品費 | (70,615) | (133,357) | △ 62,742 |
| 印刷製本費 | (57,717) | (92,627) | △ 34,910 |
| 事務所賃料等 | (1,224,974) | (1,074,817) | 150,157 |
| 事務所賃貸借保証料 | (0) | (81,665) | △ 81,665 |
| 光熱水料費 | (125,103) | (115,298) | 9,805 |
| 修繕費 | (0) | (55,097) | △ 55,097 |
| 負担費 | (0) | (25,581) | △ 25,581 |
| リース料 | (104,251) | (128,979) | △ 24,728 |
| 保険料 | (25,520) | (32,320) | △ 6,800 |
| 租税公課 | (2,427,837) | (812,037) | 1,615,800 |
| 業務委託費 | (1,631,050) | (2,018,886) | △ 387,836 |
| 雑費 | (198,096) | (106,026) | 92,070 |
| 減価償却費 | (0) | (0) | 0 |
| 経常費用計 | 60,244,209 | 55,604,983 | 4,639,226 |
| 当期経常増減額 | △ 3,558,630 | 14,646,748 | △ 18,205,378 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| ① 固定資産取崩益 | 0 | 0 | 0 |
| ② 固定資産評価益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| ① 雑損失 | 0 | 1,127,304 | △ 1,127,304 |
| 経常外費用計 | 0 | 1,127,304 | △ 1,127,304 |
| 当期経常外増減額 | 0 | △ 1,127,304 | 1,127,304 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 3,558,630 | 13,519,444 | △ 17,078,074 |
| 一般正味財産期首残高 | 154,458,775 | 140,939,331 | 13,519,444 |
| 一般正味財産期末残高 | 150,900,145 | 154,458,775 | △ 3,558,630 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| ① 受取補助金等 | | | |
| 助成金収入 | 0 | 0 | 0 |
| 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | △ 500,000 | 500,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 150,900,145 | 154,458,775 | △ 3,558,630 |

正味財産増減計算書（内訳表）
2015（平27）年3月1日から2016（平28）年2月29日まで

1/2

（単位：円）

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | |
| ① 基本財産運用益 | 0 | 1,994 | 1,994 | 2,437 | △ 443 |
| 基本財産受取利息 | (0) | (1,994) | (1,994) | (2,437) | △ 443 |
| ② 特定資産運用益 | 0 | 18,251 | 18,251 | 20,290 | △ 2,039 |
| 特定資産受取利息 | (0) | (18,251) | (18,251) | (20,290) | △ 2,039 |
| ③ 受取入会金 | 0 | 585,000 | 585,000 | 585,000 | 0 |
| 受取入会金 | (0) | (585,000) | (585,000) | (585,000) | 0 |
| ④ 受取会費 | 0 | 26,720,000 | 26,720,000 | 27,088,000 | △ 368,000 |
| 正会員受取会費 | (0) | (17,726,000) | (17,726,000) | (17,825,000) | △ 99,000 |
| 学生会員受取会費 | (0) | (2,112,000) | (2,112,000) | (2,087,000) | 25,000 |
| 団体会員受取会費 | (0) | (2,240,000) | (2,240,000) | (2,340,000) | △ 100,000 |
| 欧文誌購読会員受取会費 | (0) | (1,992,000) | (1,992,000) | (2,136,000) | △ 144,000 |
| 賛助会員受取会費 | (0) | (2,650,000) | (2,650,000) | (2,700,000) | △ 50,000 |
| ⑤ 事業収益 | 25,699,928 | 0 | 25,699,928 | 23,295,455 | 2,404,473 |
| 印刷物収入 | (17,268,164) | (0) | (17,268,164) | (15,050,055) | 2,218,109 |
| 大会収入 | (7,062,564) | (0) | (7,062,564) | (6,884,300) | 178,264 |
| 広告料収入 | (680,400) | (0) | (680,400) | (648,000) | 32,400 |
| 支部大会収入 | (688,800) | (0) | (688,800) | (713,100) | △ 24,300 |
| ⑥ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取補助金 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |
| ⑦ 受取助成金 | 1,300,000 | 0 | 1,300,000 | 0 | 1,300,000 |
| 受取助成金 | (1,300,000) | (0) | (1,300,000) | (0) | 1,300,000 |
| ⑧ 受取寄付金 | 520,000 | 0 | 520,000 | 1,000,000 | △ 480,000 |
| 受取寄付金 | (520,000) | (0) | (520,000) | (500,000) | 20,000 |
| 受取寄附金振替額 | (0) | (0) | (0) | (500,000) | △ 500,000 |
| ⑨ 受託収益 | 0 | 829,440 | 829,440 | 1,596,000 | △ 766,560 |
| 受託収益 | (0) | (829,440) | (829,440) | (1,596,000) | △ 766,560 |
| ⑩ 雑収入 | 0 | 1,010,966 | 1,010,966 | 16,664,549 | △ 15,653,583 |
| 受取利息 | (0) | (6,802) | (6,802) | (1,807) | 4,995 |
| 雑収益 | (0) | (753,438) | (753,438) | (16,410,895) | △ 15,657,457 |
| 支部雑収入 | (0) | (250,726) | (250,726) | (251,847) | △ 1,121 |
| 経常収益計 | 27,519,928 | 29,165,651 | 56,685,579 | 70,251,731 | △ 13,566,152 |
| (2) 経常費用 | | | | | |
| ① 事業費 | 49,839,689 | 0 | 49,839,689 | 44,534,356 | 5,305,333 |
| 年次大会開催費 | (7,457,945) | (0) | (7,457,945) | (7,293,750) | 164,195 |
| 会誌刊行費 | (12,864,281) | (0) | (12,864,281) | (12,403,250) | 461,031 |
| 欧文誌刊行費 | (5,623,124) | (0) | (5,623,124) | (3,886,368) | 1,736,756 |
| 各種委員会等運営費 | (1,409,958) | (0) | (1,409,958) | (1,381,514) | 28,444 |
| 支部交付金 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |
| 学術交流費 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |
| 国際交流費 | (1,179,638) | (0) | (1,179,638) | (234,112) | 945,526 |
| 事業関係通信運搬費 | (149,980) | (0) | (149,980) | (195,048) | △ 45,068 |
| 事業関係雑費 | (58,800) | (0) | (58,800) | (313,075) | △ 254,275 |
| 事業関係業務委託費 | (0) | (0) | (0) | (148,071) | △ 148,071 |
| 農学会等分担金 | (362,200) | (0) | (362,200) | (301,300) | 60,900 |
| HP管理費 | (156,600) | (0) | (156,600) | (156,600) | 0 |
| 顕彰費 | (610,000) | (0) | (610,000) | (620,000) | △ 10,000 |
| 女性・若手支援費 | (804,329) | (0) | (804,329) | (1,053,822) | △ 249,493 |
| 国際シンポジウム費 | (2,160,888) | (0) | (2,160,888) | (1,126,233) | 1,034,655 |
| 国際土壌年事業費 | (2,973,765) | (0) | (2,973,765) | (0) | 2,973,765 |
| 支部大会開催費 | (1,627,072) | (0) | (1,627,072) | (1,171,873) | 455,199 |
| 役員報酬 | (1,680,000) | (0) | (1,680,000) | (1,680,000) | 0 |
| 給料手当 | (2,063,040) | (0) | (2,063,040) | (2,026,560) | 36,480 |
| 臨時雇賃金 | (219,250) | (0) | (219,250) | (268,250) | △ 49,000 |
| 退職給付費用 | (90,000) | (0) | (90,000) | (84,000) | 6,000 |
| 法定福利費 | (16,437) | (0) | (16,437) | (37,393) | △ 20,956 |
| 福利厚生費 | (346,639) | (0) | (346,639) | (291,709) | 54,930 |
| 会議費 | (39,458) | (0) | (39,458) | (111,930) | △ 72,472 |
| 旅費交通費 | (2,416,020) | (0) | (2,416,020) | (2,601,948) | △ 185,928 |
| 通信運搬費 | (616,740) | (0) | (616,740) | (823,410) | △ 206,670 |
| 什器備品費 | (0) | (0) | (0) | (596,160) | △ 596,160 |
| 消耗品費 | (30,263) | (0) | (30,263) | (57,153) | △ 26,890 |
| 印刷製本費 | (230,870) | (0) | (230,870) | (370,508) | △ 139,638 |
| 事務所賃料等 | (1,837,462) | (0) | (1,837,462) | (1,612,226) | 225,236 |
| 事務所賃借保証料 | (0) | (0) | (0) | (122,497) | △ 122,497 |
| 光熱水料費 | (125,103) | (0) | (125,103) | (115,298) | 9,805 |
| 修繕費 | (0) | (0) | (0) | (82,645) | △ 82,645 |
| 負担費 | (0) | (0) | (0) | (38,371) | △ 38,371 |
| リース料 | (243,251) | (0) | (243,251) | (300,951) | △ 57,700 |
| 業務委託費 | (2,446,576) | (0) | (2,446,576) | (3,028,329) | △ 581,753 |
| 減価償却費 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|--------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| ② 管理費 | 0 | 10,404,520 | 10,404,520 | 11,070,627 | △ 666,107 |
| 役員報酬 | (0) | (720,000) | (720,000) | (720,000) | 0 |
| 給料手当 | (0) | (1,375,360) | (1,375,360) | (1,351,040) | 24,320 |
| 臨時雇賃金 | (0) | (219,250) | (219,250) | (268,250) | △ 49,000 |
| 退職給付費用 | (0) | (60,000) | (60,000) | (56,000) | 4,000 |
| 法定福利費 | (0) | (10,958) | (10,958) | (24,929) | △ 13,971 |
| 福利厚生費 | (0) | (231,092) | (231,092) | (194,473) | 36,619 |
| 会議費 | (0) | (157,832) | (157,832) | (447,722) | △ 289,890 |
| 旅費交通費 | (0) | (1,610,680) | (1,610,680) | (1,734,632) | △ 123,952 |
| 通信運搬費 | (0) | (154,185) | (154,185) | (205,853) | △ 51,668 |
| 什器備品費 | (0) | (0) | (0) | (1,391,040) | △ 1,391,040 |
| 消耗品費 | (0) | (70,615) | (70,615) | (133,357) | △ 62,742 |
| 印刷製本費 | (0) | (57,717) | (57,717) | (92,627) | △ 34,910 |
| 事務所賃料等 | (0) | (1,224,974) | (1,224,974) | (1,074,817) | 150,157 |
| 事務所賃借保証料 | (0) | (0) | (0) | (81,665) | △ 81,665 |
| 光熱水料費 | (0) | (125,103) | (125,103) | (115,298) | 9,805 |
| 修繕費 | (0) | (0) | (0) | (55,097) | △ 55,097 |
| 負担費 | (0) | (0) | (0) | (25,581) | △ 25,581 |
| リース料 | (0) | (104,251) | (104,251) | (128,979) | △ 24,728 |
| 保険料 | (0) | (25,520) | (25,520) | (32,320) | △ 6,800 |
| 租税公課 | (0) | (2,427,837) | (2,427,837) | (812,037) | 1,615,800 |
| 業務委託費 | (0) | (1,631,050) | (1,631,050) | (2,018,886) | △ 387,836 |
| 雑費 | (0) | (198,096) | (198,096) | (106,026) | 92,070 |
| 減価償却費 | (0) | (0) | (0) | (0) | 0 |
| 経常費用計 | 49,839,689 | 10,404,520 | 60,244,209 | 55,604,983 | 4,639,226 |
| 当期経常増減額 | △ 22,319,761 | 18,761,131 | △ 3,558,630 | 14,646,748 | △ 18,205,378 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | |
| ① 固定資産取崩益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ② 固定資産評価益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | |
| ① 雑損失 | 0 | 0 | 0 | 1,127,304 | △ 1,127,304 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 1,127,304 | △ 1,127,304 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | △ 1,127,304 | 1,127,304 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 22,319,761 | 18,761,131 | △ 3,558,630 | 13,519,444 | △ 17,078,074 |
| 一般正味財産期首残高 | 5,394,337 | 149,064,438 | 154,458,775 | 140,939,331 | 13,519,444 |
| 一般正味財産期末残高 | △ 16,925,424 | 167,825,569 | 150,900,145 | 154,458,775 | △ 3,558,630 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | |
| ① 受取補助金等 | | | | | |
| 助成金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 一般正味財産への振替額 | 0 | 0 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | △ 500,000 | 500,000 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 | 500,000 | △ 500,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | △ 16,925,424 | 167,825,569 | 150,900,145 | 154,458,775 | △ 3,558,630 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 消費税等の会計処理

税込処理

2. 会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|---------------|------------|------------|-------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 |
| 小 計 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 国際シンポジウム準備積立金 | 6,170,000 | 0 | 0 | 6,170,000 |
| 女性・若手会員支援積立金 | 17,700,000 | 0 | 0 | 17,700,000 |
| 表彰事業基金積立金 | 2,000,000 | 0 | 0 | 2,000,000 |
| 退職給付引当預金 | 610,000 | 290,000 | 0 | 900,000 |
| 事務所維持等積立金 | 0 | 74,160,000 | 0 | 74,160,000 |
| 小 計 | 26,480,000 | 74,450,000 | 0 | 100,930,000 |
| 合 計 | 36,480,000 | 74,450,000 | 0 | 110,930,000 |

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの 充当額) | (うち一般正味財産からの 充当額) | (うち負債に 対応する額) |
|---------------|-------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 定期預金 | 10,000,000 | 0 | 10,000,000 | 0 |
| 小 計 | 10,000,000 | 0 | 10,000,000 | 0 |
| 特定資産 | | | | |
| 国際シンポジウム準備積立金 | 6,170,000 | 0 | 6,170,000 | 0 |
| 女性・若手会員支援積立金 | 17,700,000 | 0 | 17,700,000 | 0 |
| 表彰事業基金積立金 | 2,000,000 | 0 | 2,000,000 | 0 |
| 退職給付引当預金 | 900,000 | 0 | 0 | 900,000 |
| 事務所維持等積立金 | 74,160,000 | 0 | 74,160,000 | 0 |
| 小 計 | 100,930,000 | 0 | 100,030,000 | 900,000 |
| 合 計 | 110,930,000 | 0 | 110,030,000 | 900,000 |

5. 担保に供している資産

なし

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 債権金額 | 貸倒引当金の当期末残高 | 債権の当期末残高 |
|-----|------------|-------------|------------|
| 未収金 | 12,748,359 | 0 | 12,748,359 |
| 合 計 | 12,748,359 | 0 | 12,748,359 |

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増減額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|---------|------------|-------|-----------|-----------|-------|-------------|
| 補助金 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 助成金 | | | | | | |
| 科研費助成金 | 独) 日本学術振興会 | 0 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | |
| 合 計 | | 0 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | |

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 内 容 | 金 額 |
|------------|-----|
| 経常収益への振替額 | 0 |
| 経常外収益への振替額 | 0 |
| 合 計 | 0 |

10. 重要な後発事象
 なし

附属明細書
2016年(平28)年2月29日現在

1. 基本財産及び特定資産の明細

『財務諸表に対する注記』の通り

2. 引当金の明細

(単位：円)

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|---------|---------|-------|-----|---------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 750,000 | 150,000 | 0 | 0 | 900,000 |
| | | | | | |

【別紙2: 公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【27 年度(2015/3/1 から 2016/2/29 までの概要】

| | |
|---|--------------|
| 1. 公益目的財産額 | 134,846,045円 |
| 2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3)) | 65,450,234円 |
| (1)前事業年度末日の公益目的収支差額 | 43,130,473円 |
| (2)当該事業年度の公益目的支出の額 | 49,839,689円 |
| (3)当該事業年度の実施事業収入の額 | 27,519,928円 |
| 3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額 | 69,395,811円 |
| 4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注 | |
| <p>計画作成時点の見込みに比べ、継1における公益目的支出の額が見込みを下回ったため、当該事業年度末日の公益目的収支差額が計画における見込額を下回ったものである。なお、公益目的支出計画の実施期間があと2年間あり、公益目的収支差額の計画額との差額は27,263,366円であり、今後の実施事業の規模を鑑みても、実施期間に関しては影響がないと考える。</p> | |

注: 詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

【公益目的支出計画の状況】


| | | |
|--------------------------|--------------------|------------|
| 公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日 | (1) 計画上の完了見込み | 平成30年2月28日 |
| | (2) (1)より早まる見込みの場合 | |


| | 前事業年度 | | 当該事業年度 | | 翌事業年度 |
|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 計画 | 実績 | 計画 | 実績 | 計画 |
| 公益目的財産額 | 134,846,045円 | 134,846,045円 | 134,846,045円 | 134,846,045円 | 134,846,045円 |
| 公益目的収支差額 | 69,535,200円 | 43,130,473円 | 92,713,600円 | 65,450,234円 | 115,892,000円 |
| 公益目的支出の額 | 43,436,400円 | 44,534,356円 | 43,436,400円 | 49,839,689円 | 43,436,400円 |
| 実施事業収入の額 | 20,258,000円 | 34,031,397円 | 20,258,000円 | 27,519,928円 | 20,258,000円 |
| 公益目的財産残額 | 65,310,846円 | 91,715,572円 | 42,132,445円 | 69,395,811円 | 18,954,045円 |

注: 前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

監査報告書

一般社団法人 日本土壤肥料学会
会長 間藤 徹 殿

監事 深見元弘 

監事 上沢正志 

私たち監事は、2015年3月1日から2016年2月29日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに公益目的支出計画実施報告書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) 公益目的支出計画実施報告書の監査結果

公益目的支出計画実施報告書は法令又は定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

第2号議案 2016年度事業計画および収支予算案

I. 2016（平成28）年度事業計画

1. 定期刊行物および資料の刊行

(1) 定期刊行物

日本土壌肥料学雑誌（第87巻第2号～第6号および第88巻第1号の計6冊、A4判、計660頁）、SOIL SCIENCE AND PLANT NUTRITION（Vol.62, No.2～No.6, Vol.63, No.1の計6冊、A4判、計708～840pp）および2016年度佐賀大会に際して日本土壌肥料学会講演要旨集（第62集、A4判、300頁）を刊行する。

(2) その他の刊行物

学会編シンポジウムシリーズとして、「土壌と界面電気現象～基礎から応用まで～」を博友社より刊行する。

2. 講演会および研究会等の開催、支援

(1) 「土と肥料」の講演会

2016年4月4日、総会終了後に、東京大学山上会館において「土と肥料」の講演会を開催する。テーマを「東日本大震災被災地の農業再生を支える対策技術研究の貢献と課題—5年後の現状認識—」とし、講演者と演題は伊藤豊彰氏「津波被災地の農業再生に向けた対策技術研究の貢献と課題」および信濃卓郎氏「原発事故被災地の農業再生に向けた対策技術研究の貢献と課題」である。なお、本講演会は日本学術会議の後援を得て実施する。

(2) 2016年度年次大会

2016年9月20日（火）～22日（木）、佐賀大学本庄キャンパスおよび佐賀市文化会館において年次大会を開催する。同期間中、一般講演、ポスターセッション、シンポジウムは20日（火）から22日（木）、学会賞等授賞式、受賞記念講演、懇親会は21日（水）に行う。

シンポジウムのテーマについては、京都大会と同じく会員に公募し、これを基に部門長会議で検討して設定することとしている。

また、学会賞等授賞式では、第61回日本土壌肥料学会賞3名、第21回日本土壌肥料学会技術賞2名、第34回日本土壌肥料学会奨励賞5名、第5回日本土壌肥料学会技術奨励賞2名に各賞を授与するとともに、受賞者の記念講演を行う。また、論文賞1件およびSSPN Award 2件の受賞者については、各賞を授与するとともに、受賞記念ポスターを展示する。

・第61回 日本土壌肥料学会賞受賞者

神山和則：土壌情報システムを利用した農業生態系の評価に関する研究

中西啓仁：イネの鉄栄養研究から出発したカドミウム吸収関連遺伝子群の発見と

低カドミウム米開発への貢献

渡邊 彰：土壤有機物の化学構造と動態に関する研究

・第 21 回 日本土壤肥料学会技術賞

熊谷勝巳：積雪寒冷地水田における良食味米安定生産と環境影響軽減のための土壌管理・施肥技術の開発

藤本順子：園芸作物における栄養障害の早期診断法と障害回避技術の開発

・第 34 回 日本土壤肥料学会奨励賞受賞者

岡崎圭毅：植物代謝産物プロファイリングによる作物栄養及びストレス応答に関する研究

小八重善裕：アーバスキュラー菌根の細胞内動態に関する研究

多胡香奈子：農耕地における農薬・窒素動態に関わる土壤微生物の新機能解明

早川 敦：流域の窒素、リンおよび硫黄の生物地球化学循環に関する研究

南川和則：農耕地における温室効果ガス排出削減技術の国際的な活用に向けた基盤研究

・第 5 回日本土壤肥料学会技術奨励賞受賞者

笛木伸彦：寒地畑作物に対する環境保全的かつ実践的な窒素施肥技術の開発

本間利光：水稲における水田土壌中のカドミウム・ヒ素の吸収抑制に関する研究

・日本土壤肥料学雑誌論文賞受賞者

八木哲生・松本武彦・大友 量・小林創平・三枝俊哉・岡 紀邦：根釧地域における飼料用トウモロコシのアーバスキュラー菌根菌感染率とリン酸施肥反応に及ぼす前作物の影響

・SSPN Award 受賞者

Kohei Yamashita・Hiroki Honjo・Mizuhiko Nishida・Makoto Kimura・Susumu Asakawa：Estimation of microbial biomass potassium in paddy field soil
Sumio Itoh・Tetsuya Eguchi・Naoto Kato・Shigeru Takahashi：Radioactive particles in soil, plant, and dust samples after the Fukushima nuclear accident

(3) 支部大会等

- ・北海道支部：第 19 回日本土壤肥料学会北海道支部野外巡検(8 月中旬～下旬 根釧地域)および 2016 年度秋季支部大会・支部総会(11/30 道民活動振興センター「かでの 2・7」)を主催する。また、第 1 回支部評議員会(6 月上旬 北海道大学)、第 2 回支部評議員会(11/30 道民活動振興センター「かでの 2・7」)を開催する。
- ・東北支部：東北支部大会、支部役員会および支部総会を開催する(山形県 場所・時期未定)。
- ・関東支部：関東支部栃木大会、支部幹事会および支部総会を開催する(12/3 宇都宮大学峰キャンパス)。
- ・中部支部：第 77 回中部支部総会、第 96 回支部例会を開催する(時期・場所未定)。また、第 158 回支部評議員会(時期・場所未定)、第 159 回支部評議員会(時期・場所未定)を開催する。

- ・関西支部：関西支部講演会並びに関西土壌肥料協議会シンポジウムを開催する（京都府立大学 日時未定）。
- ・九州支部：九州支部春季例会、支部賞選考委員会、2016年度支部常議員会、支部総会並びに若手討論会を開催する（4/27～28 鹿児島大学）。また、日本土壌肥料学会佐賀大会の開催を支援する（9/20～22）。

3. 研究の奨励および研究業績の表彰

定款および細則に基づき、第 62 回日本土壌肥料学会賞、第 22 回同技術賞、第 35 回同奨励賞、第 6 回同技術奨励賞、第 6 回同貢献賞、日本土壌肥料学雑誌論文賞、SSPN Award など顕著な業績を挙げた者を表彰する。

4. 内外の研究者、技術者、他学会等との連絡および協力

定期刊行物の国内外との交換、国内関連学会等と共催の研究討論会等を行い、学術交流・国際交流の強化を図る。

- ・第 29 回環境工学連合講演会（5/13 日本学術会議講堂）を共催する。
- ・日本地球惑星科学連合 2016 年度連合大会（5/22～26 幕張メッセ）のセッション「流域生態系の水及び物質の輸送と循環—源流域から沿岸域まで—」を協賛する。
- ・日本第四紀学会「考古学，人類学，土壌学とジオパークに関する公開シンポジウム」（6/19 明治大学駿河台校舎）を後援する。
- ・第 26 回環境工学総合シンポジウム（6/29～7/1 金沢市）を協賛する。
- ・第 53 回アイソトープ・放射線研究発表会（7/6～8 東京大学弥生講堂）を共催する。
- ・ポスト国際土壌年巡回展示「土ってなんだろう？」（7/10～31 飯能市ほか）を共催する。
- ・施設園芸・植物工場展 2016(GPEC 7/26～29 東京ビッグサイト)を協賛する。
- ・日本農芸化学会関東支部主催の「バイオサイエンス・スクール」（8 月日本大学）を共催する。
- ・第 17 回国際土壌動物学会議（8/22～26 奈良市）を協賛する。
- ・第 18 回国際腐植物質学会国際会議（9/11～19⁶ 金沢市）を共催する。
- ・第 60 回粘土科学討論会（9/15～17 福岡市）を共催する。
- ・IUSS 中間会議（11/19～25 ブラジル・リオデジャネイロ）に代表者を派遣する。

5. 本学会の委員会等活動

- ・企画委員会：総会終了後に開催する「土と肥料」の講演会を企画する。また、「国際土壌年 2015」を契機とした取組みを 2015 年度のみで終わらせずに、「土壌の重要性を広くアピールする活動」を企画する。
- ・土壌教育委員会：①佐賀大会において高校生ポスター発表会を実施する（2016.9/20～22）。②学校教育における系統的な土の指導内容を具体化する基礎資料をまとめ、会誌に投稿する。③土壌教育に関するビデオ教材の製作と土壌観察ハンドブックの改訂準備を行う。④教員研修事業および普及事業を実施する（時期・場所未定）。⑤自然観察の森に土壌断面の説明等が書かれた野外観察板を設置する（場所未定）。⑥日本農芸化学会関東支部主催で高校生対象に開催される「バイオサイエンス・スクール」に参加する（2016.8 日本大学）。

- ・ 財政基盤整備委員会：収支バランスのとれた学会運営のあり方、大会運営の確立について検討する。
- ・ 広報委員会：①学会ホームページのさらなる改善を図る。②メールマガジン等による情報発信の活性化を図る。③土壌教育委員会とともにエコプロダクツ 2016に出展する（2016.12）。
- ・ 欧文誌あり方委員会（仮称）：欧文誌の今後の方向について検討を開始する。

6. その他、本学会の目的達成のための事業

- ・ 日本土壌肥料学会創立記念事業のあり方について検討する。
- ・ 外部からの顕彰および研究助成の推薦依頼に対応する。
- ・ 規程に基づき、若手正会員及び学生会員の海外学会参加渡航費の一部を支援する。
- ・ 各理事担当の年間業務を整理し、円滑化を図る。

II. 2016(平成 28)年度収支予算案

一般正味財産増減の部

1. 経常増減の部の経常収益

前年度予算額よりも 401 万円減の 4,733 万円を見込んでいる。主な増減は以下のように見込まれる。

(1) 前年度に比べて増加が見込まれる科目

特になし。

(2) 前年度に比べて減少が見込まれる科目

- ③受取会費は前年度予算額よりも 253 万円減の 2,614 万円。正会員受取会費は 150 万円減、団体会員受取会費は 42 万円減。
- ④事業収益／欧文誌投稿料・別刷代等は Talor & Francis 社との契約更新により 83 万円減の 584 万円。
- 同／大会収入は、参加者減の予想により前年度予算額よりも 59 万円減の 640 万円。

2. 経常増減の部の経常費用

前年度予算額よりも 760 万円減の 5,455 万円を見込んでいる。主な増減は以下のように見込まれる。

(1) 前年度に比べて増加が見込まれる科目

- ①事業費／欧文誌刊行費は 87 万円増。
- 同／各種委員会等運営費は 32 万円増。

(2) 前年度に比べて減少が見込まれる科目

- ①事業費／年次大会開催費は前年度予算額よりも 65 万円減の 635 万円。
- 同／会誌刊行費は 89 万円減。
- 同／国際交流費は 170 万円減。
- 同／国際シンポジウム費は 207 万円減。
- 同／国際土壌年事業費は 133 万円減。
- 臨時雇い賃金は 40 万円減。
- 会議費は 58 万円減。
- 旅費・交通費は 50 万円減。
- 業務委託費は計 75 万円減。

これらのことから、当期経常増減額は 722 万円の赤字が見込まれる。前年度経常増減額－1,080 万円(うち 560 万円が国際土壌年活動関連という特殊事情を有する)に比べて赤字の縮小が小さいのは、経常収益を 401 万円減と見込んだことによる影響もある。

指定正味財産増減の部

なし。

以上の結果から、正味財産期末残高は722万円減の1億1,728万円が見込まれる。

(一社) 日本土壌肥科学会2016年度収支予算書(損益ベース)(内訳表)(案)

2016(平成28)年3月1日から2017(平成29)年2月28日まで

1/2

(単位:円)

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 予算額 | 前年度予算額 | 備考 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | |
| ① 基本財産運用益 | 0 | 1,500 | 1,500 | 1,500 | |
| 基本財産受取利息 | (0) | (1,500) | (1,500) | (1,500) | |
| ② 受取入金 | 0 | 540,000 | 540,000 | 600,000 | |
| 受取入金 | (0) | (540,000) | (540,000) | (600,000) | 3,000円×180人 |
| ③ 受取会費 | 0 | 26,140,000 | 26,140,000 | 28,670,000 | |
| 正会員受取会費 | (0) | (17,500,000) | (17,500,000) | (19,000,000) | 10,000円×1,750人 |
| 学生会員受取会費 | (0) | (1,680,000) | (1,680,000) | (1,800,000) | 6,000円×280人 |
| 団体会員受取会費 | (0) | (2,180,000) | (2,180,000) | (2,600,000) | 20,000円×109団体 |
| 欧文誌購読会費 | (0) | (2,280,000) | (2,280,000) | (2,520,000) | 6,000円×380人 |
| 賛助会員受取会費 | (0) | (2,500,000) | (2,500,000) | (2,750,000) | 50,000円×50口 |
| ④ 事業収益 | 20,562,500 | 0 | 20,562,500 | 21,985,000 | |
| 会誌刊行等事業収益 | (13,362,000) | (0) | (13,362,000) | (14,190,000) | |
| 会誌委託販売 | (1,200,000) | (0) | (1,200,000) | (1,200,000) | |
| 会誌投稿料・別刷り代等 | (2,700,000) | (0) | (2,700,000) | (2,700,000) | 87(2)~88(1) |
| 会誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | (10,000) | (10,000) | |
| 欧文誌委託販売 | (3,500,000) | (0) | (3,500,000) | (3,500,000) | Taylor & Francis |
| 欧文誌投稿料・別刷り代等 | (5,842,000) | (0) | (5,842,000) | (6,670,000) | 62(2)~63(1) |
| 欧文誌バックナンバー等 | (10,000) | (0) | (10,000) | (10,000) | |
| 講演要旨集(大会時外) | (0) | (0) | (0) | (0) | バックナンバー等 |
| その他印刷物 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| 出版物印税 | (100,000) | (0) | (100,000) | (100,000) | 博友社印税 |
| 大会収入 | (6,400,500) | (0) | (6,400,500) | (6,995,000) | 佐賀大会運営委予算案に基づく |
| 参加料 | (3,245,000) | (0) | (3,245,000) | (3,455,000) | |
| 発表料 | (520,000) | (0) | (520,000) | (540,000) | |
| 講演要旨集(大会時) | (2,600,000) | (0) | (2,600,000) | (3,000,000) | |
| 雑収入 | (35,500) | (0) | (35,500) | (0) | |
| 広告料 | (800,000) | (0) | (800,000) | (800,000) | |
| 支部大会収入 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑤ 受取補助金等 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取補助金 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑥ 受取助成金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取助成金 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑦ 受取寄付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 受取寄付金 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| 受取寄附金振替額 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑧ 受託収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 受託金 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| ⑨ 雑収入 | 0 | 90,000 | 90,000 | 90,000 | |
| 受取利息 | (0) | (20,000) | (20,000) | (20,000) | |
| 雑収益 | (0) | (70,000) | (70,000) | (70,000) | 情報システム研究機構還元金、他 |
| 支部雑収入 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| 経常収益計 | 20,562,500 | 26,771,500 | 47,334,000 | 51,346,500 | |
| (2) 経常費用 | | | | | |
| ① 事業費 | 45,714,142 | 0 | 45,714,142 | 52,170,120 | |
| 年次大会開催費 | 6,347,360 | 0 | 6,347,360 | 6,994,520 | 佐賀大会運営委予算案に基づく |
| 会場費 | (1,170,000) | (0) | (1,170,000) | (1,820,000) | |
| 人件費 | (720,000) | (0) | (720,000) | (840,000) | 学生アルバイト |
| 運営費 | (599,600) | (0) | (599,600) | (480,000) | 機材、運営諸費用 |
| 年次大会管理費 | (2,337,120) | (0) | (2,337,120) | (2,450,520) | 受付Web等 |
| 大会関係印刷費 | (1,520,640) | (0) | (1,520,640) | (1,404,000) | 講演要旨集 |
| 会誌刊行費 | 12,030,000 | 0 | 12,030,000 | 12,920,000 | 87(2)~88(1) |
| 印刷製本費 | (10,000,000) | (0) | (10,000,000) | (10,000,000) | |
| 通信運搬費 | (2,000,000) | (0) | (2,000,000) | (2,000,000) | |
| 編集費 | (30,000) | (0) | (30,000) | (920,000) | |
| 欧文誌刊行費 | 6,374,250 | 0 | 6,374,250 | 5,500,000 | 62(2)~63(1) |
| 印刷製本費 | (4,874,250) | (0) | (4,874,250) | (4,300,000) | |
| 通信運搬費 | (0) | (0) | (0) | (0) | |
| 編集費 | (1,500,000) | (0) | (1,500,000) | (1,200,000) | |
| 各種委員会等運営費 | 2,044,780 | 0 | 2,044,780 | 1,724,500 | 土壌教育委、広報委(エコプロダクツ出展)、他 |
| 支部交付金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 学術交流費 | 60,000 | 0 | 60,000 | 30,000 | 土と肥料の講演会 他 |
| 国際交流費 | 800,000 | 0 | 800,000 | 2,495,000 | IUSSへの代表者派遣 |
| 事業関係通信運搬費 | 200,000 | 0 | 200,000 | 200,000 | |
| 事業関係雑費 | 35,000 | 0 | 35,000 | 0 | |
| 事業関係業務委託費 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 農学会等分担金等 | 270,000 | 0 | 270,000 | 270,000 | 日本農学会分担金、日本学術協力財団 |
| HP管理費 | 189,600 | 0 | 189,600 | 189,600 | HP更新、メルマガ運用 |
| 顕彰費 | 710,000 | 0 | 710,000 | 610,000 | 学会賞他 |

次頁に続く

| 科 目 | 実施事業等会計 | 法人会計 | 予算額 | 前年度予算額 | 備考 |
|---------------|--------------|-------------|-------------|--------------|------------|
| 女性・若手支援費 | 1,600,000 | 0 | 1,600,000 | 1,660,000 | 奨励賞、渡航支援 他 |
| 国際シンポジウム費 | 675,000 | 0 | 675,000 | 2,741,000 | |
| 国際土壌年事業費 | 160,000 | 0 | 160,000 | 1,485,000 | |
| 支部大会開催費 | 1,500,000 | 0 | 1,500,000 | 1,500,000 | |
| 役員報酬 | 1,680,000 | | 1,680,000 | 1,680,000 | |
| 給料 | 2,160,000 | | 2,160,000 | 2,160,000 | |
| 法定福利費 | 60,000 | | 60,000 | 60,000 | 労働保険 |
| 福利厚生費 | 360,000 | | 360,000 | 360,000 | 健保 |
| 臨時雇い賃金 | 250,000 | | 250,000 | 450,000 | |
| 会議費 | 28,000 | | 28,000 | 144,800 | |
| 旅費・交通費 | 2,400,000 | | 2,400,000 | 2,700,000 | |
| 通信運搬費 | 800,000 | | 800,000 | 800,000 | |
| 什器備品費 | 15,000 | | 15,000 | 30,000 | |
| 消耗品費 | 90,000 | | 90,000 | 120,000 | |
| 印刷製本費 | 240,000 | | 240,000 | 280,000 | |
| 事務所賃料等 | 1,872,000 | | 1,872,000 | 1,872,000 | 家賃等12ヶ月分 |
| 光熱水料費 | 150,000 | | 150,000 | 150,000 | |
| リース料 | 560,000 | | 560,000 | 560,000 | |
| 業務委託費 | 1,950,000 | | 1,950,000 | 2,400,000 | 会員管理、会計業務 |
| 退職給付引当金繰入 | 103,152 | | 103,152 | 83,700 | |
| ② 管理費 | | 8,838,768 | 8,838,768 | 9,978,000 | |
| 役員報酬 | | 720,000 | 720,000 | 720,000 | |
| 給料 | | 1,440,000 | 1,440,000 | 1,440,000 | |
| 法定福利費 | | 40,000 | 40,000 | 40,000 | 労働保険 |
| 福利厚生費 | | 240,000 | 240,000 | 240,000 | 健保 |
| 臨時雇い賃金 | | 250,000 | 250,000 | 450,000 | |
| 会議費 | | 112,000 | 112,000 | 579,200 | |
| 総会 | | (48,000) | (48,000) | (240,000) | 山上会館 |
| 理事会 | | (16,000) | (16,000) | (16,000) | |
| 部門長会 | | (8,000) | (8,000) | (291,200) | |
| 選考委員会 | | (8,000) | (8,000) | (8,000) | |
| 選挙管理委員会 | | (8,000) | (8,000) | (0) | |
| その他会議費 | | (24,000) | (24,000) | (24,000) | |
| 旅費・交通費 | | 1,600,000 | 1,600,000 | 1,800,000 | |
| 通信運搬費 | | 200,000 | 200,000 | 200,000 | |
| 什器備品費 | | 35,000 | 35,000 | 70,000 | |
| 消耗品費 | | 210,000 | 210,000 | 280,000 | |
| 印刷製本費 | | 60,000 | 60,000 | 70,000 | |
| 事務所賃料等 | | 1,248,000 | 1,248,000 | 1,248,000 | 家賃等12ヶ月分 |
| 事務所賃貸保証料 | | 0 | 0 | 0 | |
| 光熱水料費 | | 150,000 | 150,000 | 150,000 | |
| リース料 | | 240,000 | 240,000 | 240,000 | |
| 保険料 | | 25,000 | 25,000 | 15,000 | |
| 租税公課 | | 800,000 | 800,000 | 700,000 | 消費税、法人税、他 |
| 業務委託費 | | 1,300,000 | 1,300,000 | 1,600,000 | 会員管理、会計業務 |
| 雑費 | | 100,000 | 100,000 | 80,000 | |
| 退職給付引当金繰入 | | 68,768 | 68,768 | 55,800 | |
| 経常費用計 | 45,714,142 | 8,838,768 | 54,552,910 | 62,148,120 | |
| 当期経常増減額 | △ 25,151,642 | 17,932,732 | △ 7,218,910 | △ 10,801,620 | |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | |
| ① 雑収益 | | | 0 | 0 | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| (2) 経常外費用 | | | | | |
| ① 雑損失 | | | 0 | 0 | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期経常外増減額 | | | 0 | 0 | |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 25,151,642 | 17,932,732 | △ 7,218,910 | △ 10,801,620 | |
| 一般正味財産期首残高 | △ 4,551,882 | 129,053,665 | 124,501,783 | 135,303,403 | |
| 一般正味財産期末残高 | △ 29,703,524 | 146,986,397 | 117,282,873 | 124,501,783 | |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | |
| ① 受取補助金等 | | | | | |
| 助成金収入 | | | | 0 | |
| 受取寄付金 | | | | 0 | |
| 一般正味財産への振替額 | | | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 指定正味財産期首残高 | | | | | |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| III 正味財産期末残高 | △ 29,703,524 | 146,986,397 | 117,282,873 | 124,501,783 | |

参考

2016 年度役員、代議員等一覧

役員（20 名）

| | |
|-----------|----------------|
| 会長 | 間藤 徹 |
| 副会長 | 犬伏和之・木村 武 |
| 常務理事（常勤） | 原田靖生 |
| 常務理事 | 安西徹郎 |
| 会計担当理事 | 渡邊浩一郎・相崎万裕美 |
| 会誌担当理事 | 須藤重人・岡本 保 |
| 欧文誌担当理事 | 中西啓仁・國頭 恭 |
| 渉外担当理事 | 矢内純太・大塚重人・白戸康人 |
| 部門長会議担当理事 | 徳田進一 |
| 広報担当理事 | 和崎 淳・高田裕介 |
| 教育担当理事 | 菅野均志 |
| 監事 | 上沢正志・深見元弘 |

代議員（100 名）

（北海道支部 定員 10 名）

大崎 満、岡 紀邦、奥村正敏、加藤 淳、澤本卓治、志賀弘行、谷 昌幸、中津智史、波多野隆介、日笠裕治

（東北支部 定員 12 名）

青山正和、伊藤豊彰、金田吉弘、齋藤雅典、佐藤 孝、信濃卓郎、俵谷圭太郎、高橋 正南條正巳、西田瑞彦、藤井弘志、三浦憲蔵

（関東支部 定員 41 名）

荒尾知人、太田寛行、大谷 卓、大山卓爾、小川吉雄、尾和尚人、加藤直人、金澤健二、金子文宜、亀和田國彦、川崎 晃、川東正幸、木村真人、小崎 隆、後藤逸男、坂本一憲、隅田裕明、妹尾啓史、高橋能彦、田中治夫、田村憲司、豊田剛己、鳥山和伸、長坂克彦、橋本知義、長谷部亮、早津雅仁、原田久富美、樋口恭子、平舘俊太郎、藤原俊六郎、藤原 徹、牧野知之、陽 捷行、三輪睿太郎、森 敏、八木一行、山口紀子、横山 正吉川省子、米山忠克

（中部支部 定員 11 名）

浅川 晋、池田彰弘、磯井俊行、小川直人、糟谷真宏、三枝正彦、水野隆文、高橋和彦、村瀬 潤、森田明雄、渡邊 彰

（関西支部 定員 17 名）

赤井直彦、岩崎貢三、内山知二、櫻井克年、実岡寛文、柴原藤善、真常仁志、田中壮太、野村美加、藤嶽暢英、藤山英保、舟川晋也、前田守弘、馬 建鋒、増永二之、山本洋子、松森堅治

（九州支部 定員 9 名）

荒川祐介、草場 敬、佐伯雄一、境 雅夫、染谷 孝、樗木直也、古江広治、山川武夫、和田信一郎

部門長

(第1部門) 小林政広 (第2部門) 藤嶽暢英 (第3部門) 豊田剛己
(第4部門) 小山博之 (第5部門) 舟川晋也 (第6部門) 新良力也
(第7部門) 西田瑞彦 (第8部門) 前田守弘 (第9部門) 福田直

支部長

北海道 志賀弘行 東北 藤井弘志 関東 長谷川功
中部 小川直人 関西 矢内純太 九州 境雅夫

会誌編集委員会

委員長 樋口恭子

常任編集委員 飯村康夫、鈴木雄二、高橋能彦、佐野修司、藤原英司、加藤拓
藤井一至、渡邊健史、大津直子、森下智陽、赤井直彦、原嘉隆

地域担当編集委員

北海道 中村卓司、長尾明宣、谷昌幸 東北 関矢博幸、金田吉弘、中川進平
関東 大脇良成、山田和義、八島未和 中部 原正之、梅本英之、磯井俊行
関西 内山知二、矢内純太、大家理哉 九州 境雅夫、荒川祐介、脇門英美

欧文誌編集委員会

委員長 波多野隆介

国内編集委員 間藤徹、林健太郎、森田明雄、小林政広、吉田修一郎、橋本洋平
平館俊太郎、藤嶽暢英、眞家永光、齋藤勝晴、沢田こずえ、鮫島玲子、青野俊裕
豊田剛己、森本晶、西澤智康、小山博之、大竹憲邦、鈴木雄二、小林優、石川覚
中西啓仁、岩崎貢三、小原洋、久保寺秀夫、新良力也、松本真悟、唐澤敏彦
西田瑞彦、高橋智紀、中辻敏朗、小野賢二、古賀伸久、白戸康人、武田晃、前田守弘
高階史章、藤間充

海外編集委員 Roland Buresh、Randy A. Dahlgren、Yahai Lu、G.N. Magesan
Rachid Serraj、Sumitra Poovarodom、Xiaoyuan Yan、Jae E. Yang
Kyung-Sook Whang、Zucong Cai、Ping He、Yong-Guan Zhu

土壌教育委員会

委員長 平井英明

副委員長 田村憲司 事務局長 赤羽幾子 顧問 福田直

委員 村野宏達、木村武、三枝俊哉、佐々木由佳、森圭子、磯井俊行、藤間充
森裕樹

2016年度年次大会（佐賀）運営委員会

運営委員長：染谷孝、副委員長：田崎博文

事務局長：上野大介、副事務局長：大塚紀夫、会計幹事：龍田典子

運営委員：境雅夫、中村聡、横尾浩明、稲富和弘、釘本和仁、黒川洋介、宮島恒晴